

## 世界お茶まつりポスター

### 浅井さん(静岡文化芸術大)作品に

日本茶の魅力を世界に発信する「世界お茶まつり2019」の実行委員会(顧問・川勝平太知事)が十六日、県庁であり、開催概要をまとめた実施計画を策定した。静岡文化芸術大デザイン学部三年の浅井友希さん(三)が制作したPRポスターがお披露目された。

お茶まつりは、三年に一回開催。二〇一九年は五月十一・十二日、ふじのくに茶の都ミュージアム(島田市)一帯で「春の祭典」、十一月七・十日にグランシップ(静岡市駿河区)で「秋の祭典」を開く。

実施計画によると、春の祭典では、茶園の散策ツアーや、ヘリコプターで牧之

ポスターのデザインを紹介する作者の浅井友希さん(県庁で

原大地に広がる茶園を上空から眺める遊覧飛行ツアー



し、茶摘み体験などを予定。秋の祭典では、世界の主要な茶の生産・消費国の茶産業の関係者が集い、各地域の茶やその飲み方から、

茶器、製茶機械に至るまで、さまざまな茶文化を来場者に紹介する。

PRポスターは、静岡文化芸術大生七人が応募し、浅井さんが選ばれた。富士山と湯飲みの中の茶に映った地球が描かれ、「世界と静岡県が茶文化でつながる様子を表した」と浅井さん。「静岡の美味しいお茶を発信できる役割を任せてもらえてうれしい」と話した。(岸友里)

2018.10.17

中日新聞 (朝刊)